

地域ビジョンについて

国が定める「地域ビジョン」

内閣官房及び内閣府の「地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き」（令和5年12月）においては、「地域の個性や魅力を生かした地域ビジョン（地域が目指すべき理想像）を地方版総合戦略に記載するよう努めてください」としています。

本総合戦略の対象（案）

・立川市民（＝定住者） ・市外からの来訪者 ・市外から継続的に立川市に多様な形で関わる者を指す関係人口

人口推計と課題

「立川市第5次長期総合計画策定のための将来人口推計調査報告書」によれば、立川市の総人口は令和10（2028）年に186,390人でピークを迎えます。その後減少を続け、令和47（2065）年には令和5（2023）年と比べて26,333人、14.2%の減少となります。

こうした人口減少に加え、少子高齢化がさらに進むと、経済活動の縮小や、社会保障制度の破綻といった懸念が生じます。

立川市の地域ビジョンの前提となる認識について

- （1）人口減少に対し、市がとるべき方向性について（今後5年～10年）
（例）・減少やむなし、規模に応じた経済 ・社会増を引き続き目指す ・自然増を目指す
- （2）地方創生について（持続可能なまちに必要な事とは？）